

高等学校芸術科（音楽）採点基準

2枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 〔例〕		採点上の注意	配点		
1	1	※ 別紙（計1枚）	問いを正しくとらえていれば、内容は異なっていてよい。 正確で読みやすい記譜の表記であること。 演奏が可能な音域で創作されていること。 和声が適切な進行であること。 （和音にふさわしい旋律、和声法に基づいた進行） 創造性豊かな表現の工夫が見られること。（装飾的な要素、リズム、対照、音の重なり、カノンなど）	60	70	
	2	※ 別紙（計1枚）		10		
2	題材名 （人の声の特徴を生かし、構成を工夫して音楽をつくろう）		題材名は、問いを正しくとらえていれば、内容は異なっていてよい。 学習活動は、内容を正しくとらえていれば、表現は異なっていてよい。	30		
	時間	学習活動				
	第1時間目	○ テーマ「花火」からイメージする言葉や音等を即興的に声に出しながら、花火の様子を表現する。 ・テーマ「花火」からイメージする言葉、音、場の様子を表す言葉を見付ける。 ・イメージした言葉や音等を実際に声に出して、花火が打ち上げられる様子を即興的に表現し試す。 ・友達と表現を重ねたり、強弱や速度等を変化させながら反復させたりして、面白さを味わう。				
第2時間目	○ 「花火」からイメージした言葉や音等にリズムや旋律等を付けたり、それらを重ねたりしながら、全体の構成を考えて、グループで「花火」の音楽をつくる。 ・「花火」からイメージした言葉や音に、一人一人がリズムや旋律等を付けたり、イメージにあった声の出し方を考えたりして、実際に声を出し、表現を試す。 ・反復、変化、対照等の構成を工夫し、一人一人のつくった表現のよさを生かしながら、グループで重ね方を考える。 ・実際に声に出しながら、リズムの重なり方や強弱・速度等の効果を試す。 ・リズムの重なり方や演奏の仕方が視覚的に捉えられるように、文字、絵、図、記号等で記録する。					
第3時間目	○ 反復、変化、対照等の構成を意識してグループでつくった「花火」の音楽を演奏する。 ・グループごとにつくった「花火」の音楽の演奏を聴き合う。 ・それぞれのグループがつくった「花火」の音楽について、構成の工夫による効果が表れているか、一人一人の表現が全体の演奏の中で効果的に生かされているか等、グループや全体で意見交流する。 ・意見交流の内容を踏まえて再構成し、「花火」の音楽を完成させる。					
3	1	(a)	室町		各5×4	30
		(b)	シテ			
		(c)	ワキ			
		(d)	囃子方			
	2	(1)	(オ)	(2)	(ウ)	

高等学校芸術科（音楽）採点基準

2枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 〔例〕		採点上の注意	配点		
4		曲想を、歌詞の言葉の意味や語感、歌詞が表す情景や心情などと関わらせて感じ取ったり、その楽曲がつけられた背景や歌い継いできた人々の思いなどと関わらせて感じ取ったりして、楽曲にふさわしい表現を工夫して歌う学習活動。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10		
5	1	(ア)	ロシア		各 3 × 2		
		(イ)	トルコ				
	(2)	(a)	ゴスペル・ソング		各 3 × 2		
		(b)	パンソリ				
2	<ul style="list-style-type: none"> 音色に着目させることにより、冒頭部に続いて断片的に現れる第1楽章から第3楽章の主題と、それに対するチェロとコントラバスのレチタティーヴォ風の旋律との掛け合いに気付かせ、楽曲の構造の効果を捉えさせる。 声楽が加わる部分について、演奏形態に着目させて聴かせ、「歓喜」の主題の曲想の変化を捉えさせる。 「歓喜」及び「抱擁」の両主題による二重フーガの構造について、図式化したものを提示し、2つの主題の展開を視覚的に捉えさせる。 ベートーヴェンが作曲途中のスケッチに書いていた言葉を参考にしながら、ベートーヴェンが「歓喜」をどのように表現しようとしていたのかについて考えさせる。 		1つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	22 10			
6	1	(ア)	17～18世紀のヨーロッパで広く行われたもので、鍵盤楽器奏者、又はハープ、リュートなどの撥弦楽器奏者が、与えられた低音の上に、即興で和音を補いながら伴奏声部を完成させる方法及びその低音部のこと。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 4		
		(イ)	1879（明治12）年に文部省内に創設され、西洋音楽中心の音楽教育の基礎を築いた、日本最初の官立の音楽教育機関名のこと。				
		(ウ)	ゆっくりと				
		(エ)	静かに				
2	(ア)	楽 曲 名	ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調作品23	作 曲 者 名	チャイコフスキー	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 3 × 4
	(イ)	楽 曲 名	交響詩「ティル・オイ レンシュピーゲルの 愉快なはずら」作品 28	作 曲 者 名	リヒャルト・シュ トラウス		
7	音楽を形づくっている要素や構造などを客観的な理由としてあげながら、それらと曲想との関わりや、楽曲や演奏に対する自分なりの評価などを表すことができるようにすること。		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。		10		

